

### 3/18(土)の行事



報道発表資料の配付日時 2月20日(月)

<p>発表項目 (行事名)</p>	<p>「ヒグマを知ろう ～くまなびセミナー in 帯広～」の参加者募集について</p>
<p>概要</p>	<p>札幌市中心部をはじめ、全道各地でヒグマの出没が多発するとともに、令和3年度には、過去最多となる人身事故が発生、滝上町では道外からお越しの方がお亡くなりになるなど、近年、人とヒグマとのあつれきが道内各地で増加しています。ヒグマ人身事故を防止するためには、何よりも人間側がヒグマの生態を正しく知り、適切な対応をとることが極めて重要であることから、道では官民連携して様々な手法により道民や来道者に向けた普及啓発の取組を一層強化推進しているところ、この度、十勝管内に在住する道民の皆様に対して、ヒグマについての正しい知識や最近の動向などを学んでいただく、「くまなびセミナー」を開催します。ヒグマ活動期序盤の3月、十勝管内に在住する多くの皆様にヒグマのことを知っていただき、一人ひとりがヒグマを意識することで出没防止や人身事故の防止等に役立てていただきます。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>日時 令和5年(2023年)3月18日(土) 14:00～16:00 (入場は13:45からを予定)</p> <p>場所 とかちプラザ 1階大集会室 (帯広市西4条南13丁目1)</p> <p>定員 80名(事前申込みが必要です。定員に達した時点で受け付け終了)</p> <p>対象者 どなたでも参加いただけます(参加無料)</p> <p>内容 第1部 知床ウトロ学校「ヒグマ授業」in 帯広 (公財)知床財団 岡本 征史 先生 第2部 ヒグマから身を守り、共存を進めるには 酪農学園大学 教授 佐藤 喜和 先生</p> <p>申込み 次のいずれかの方法(詳細は別添資料①参照) QRコード、FAX(0155-22-3746)、電話(0155-26-9028)</p>
<p>参考</p>	<p>【別添資料】</p> <p>① 募集チラシ「ヒグマを知ろう ～くまなびセミナー in 帯広～」</p> <p>② セミナーの概要(※第1部、第2部の概要を記載)</p>
<p>報道(取材)に当たってのお願い</p>	<p>春は冬眠からヒグマが目覚め、活発に行動する時期となります。ヒグマの出没を抑制し、人身事故から身を守るためにも、まずは人がヒグマを正しく知り、常に意識することが極めて重要です。</p>
<p>他のクラブとの関係</p>	<p>同時配付 同時レク 記者レク</p>
<p>その他</p>	
<p>担当(連絡先)</p>	<p>北海道十勝総合振興局保健環境部環境生活課自然環境係 (担当者:環境生活課長 梅谷) tel 0155-26-9024(直通)</p>

# ヒグマを知ろう

～くまなびセミナー in 帯広～

僕たちのこと  
どのくらい知ってる？

3 / 18 (土)  
14:00～16:00  
とかちプラザ 1階  
大集会室

**参加無料**  
どなたでも参加  
いただけます。

**定員80名**  
(事前申し込み必須)

## 第1部

知床ウトロ学校「ヒグマ授業」  
in 帯広 14:00～14:50



公益財団法人知床財団 岡本征史  
1965年北海道旭川市生まれ、栗山町育ち。  
2006年度より知床財団に加わり、野生動物対策や普及/企画/環境教育等の業務担当を経て、2018年度より企画総務部長に着任。

## 第2部

ヒグマから身を守り、共存を進めるには 15:00～15:50



酪農学園大学 教授 佐藤 喜和  
ヒグマと人との関係を25年ほど行っているほか、札幌市を中心とした都市に出没するヒグマの生態と管理に関する研究などを行っている。著書は「アーバン・ベアとなりのヒグマと向きあう」等。

申込方法(次のいずれかの方法)

- ①QRコードから申込みフォームに進み、申し込んでください。
- ②裏面申込用紙に必要事項を記入の上、FAXしてください。  
(FAX番号=0155-22-3746)
- ③電話による申込み(電話番号=0155-26-9028)  
(注意)  
定員に達した時点で申し込み受付終了となります。



講師等内容についての詳細は「**十勝 ヒグマ啓発**」で検索

主催 北海道十勝総合振興局保健環境部環境生活課

【問い合わせ】十勝総合振興局保健環境部環境生活課自然環境係

電話:0155-26-9028 FAX:0155-22-3746

# くまなびセミナー 申込書

参加人数			
所属(任意)			
氏名 ※複数申し込みの場合 代表者の名前			
連絡先	TEL:		
住所			
年齢(任意)		性別(任意)	男・女
参加者氏名 ※複数での申し込みの 場合のみ記入			
本イベントについて どこで知ったか(任意)			

講師等内容についての詳細は「**十勝 ヒグマ啓発**」で検索

【申込先】北海道十勝総合振興局保健環境部環境生活課自然環境係

- ① QRコードから申込み
- ② FAXの場合 0155-22-3746
- ③ 電話による申込み 0155-26-9028

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です



## ヒグマを知ろう ～くまなびセミナー in 帯広～

セミナーの概要（※内容は予告なく変更する場合があります。）

### 第1部 知床ウトロ学校「ヒグマ授業」 in 帯広

講師 （公財）知床財団 岡本 征史 先生

知床ウトロ学校「クマ授業」って知っていますか？知床は世界的に見てもヒグマが多く生息している場所として知られている一方、市街地への出没や観光客による野生動物へのえさやりなど、人とヒグマに関わる多くの問題を抱えている地域でもあります。

そのような中で、「自分たちの暮らす知床とは？」「ヒグマはどんな動物で、出会ったらどうすればいい？」など、知っているようで意外と知らない地域の自然や環境に興味を持ち、楽しく学ぶことを目的に、知床財団がそのお膝元でもあるウトロ地域にある「ウトロ学校」で毎年開催しているものです。

札幌をはじめ道内各地でヒグマの市街地出没や人身事故が多発しています。大都市帯広を擁する十勝も例外ではなく、数年前、実際に帯広市内の小学校内にヒグマが出没したこともあります。もはやヒグマは知床だけではなく、全道の課題となりました。

このような状況を踏まえ、知床で実際に行われている知床ウトロ学校「クマ授業」の教室を帯広市に移し、知床財団において環境教育を推進してきた第一人者である岡本先生とともに人とクマの距離を保つために何ができるのか、知床で蓄積されてきた知恵から一緒に考えます。

現在は、道内各地で実施されている「クマ授業」。本物のヒグマの頭骨や毛皮、食べ物によって異なるフンの標本などを使い、小中学生から大人まで、幅広い年齢層で楽しめる内容ですので、まずは楽しくヒグマを知ることから始めましょう。

### 第2部 ヒグマから身を守り、共存を進めるには

講師 酪農学園大学 教授 佐藤 喜和 先生

野生動物生態学やヒグマの生態と管理に関する研究を専門とされる酪農学園大学教授の佐藤喜和先生によるお話です。

まず、そもそもヒグマとはどういった動物なのか、北海道に住む私たちがなんとなく知っている、わかったつもりでいるすぐ隣にいる野生の住民「ヒグマ」の生態について、改めて基礎から教えていただきます。

また、佐藤先生は25年にわたり浦幌町を中心に白糠丘陵地域のヒグマと人との関係について研究を行っていることから、その成果や十勝管内のヒグマについても俯瞰していただきます。

さらに昨今、道内各地でヒグマの市街地への出没や人身事故などが多発していることもあり、「もし自分の街にも突然ヒグマが現れたらどうしよう」などと不安な気持ちになる人も多いのではないのでしょうか。

近著に「アーバン・ベア、となりのヒグマと向きあう」（2021年）を出版された佐藤先生には、札幌市を中心とした都市に出没するヒグマの生態と管理に関する研究などを行っている立場から、今、人とヒグマの関係はどのような状況にあるのかなどの現状の共有をはじめ、今後、一人ひとりがどのような意識をもち、ヒグマとの関係性を構築していくべきなのか、さらにはヒグマとの適切な距離を保つためのランドデザインとはどのようなものかなど、大きな視点を踏まえながら人とヒグマの共存を進めていくための考え方についてお話ししていただきます。